

《編集後記》

光彩14号をお届けします。本号は、懇談会の第3期の運営委員あるいは幹事になられた方々から頂いた挨拶が主な内容です。この3ヶ月間に、ファーストビーム成功や各種検査など先行BLの順調な立ち上がりを目の当たりにしました。蓄積リング棟を訪ねる度に、放射線安全管理が厳しくなって行き、また運転に関するアナウンスを聞くに付けても放射光施設としての完成に向かう熱気を肌で感じます。共同チームの皆様のご努力に敬意を表します。その熱気を本号で直接お伝え出来ないのは残念ですが、ご挨拶の中でも触れて頂けたので会員の皆様にも感じて頂けたことと思います。利用フェーズの始まりはもう目の前です。本誌も来年1月から「SPRING-8利用者情報」誌にマージさせて頂くことに成りました。懇談会独自の広報誌としての発行は、次回9月発行予定の15号までです。間もなく両者の合併号に向けた編集に関する議論も始まる予定です。会員と施設者側の積極的なコミュニケーションが図られる場と成るように願っております。

圓山 裕

4月に編集幹事になって初めて編集に携わりました。光彩が、利用者懇談会事務局長の佐久間さんと、二人の編集幹事の合計3人で編集がおこなわれているとは知りませんでした。特に編集作業そのものは、佐久間さんの力が絶大で、その助けがあって何とか私でも編集幹事が勤まりそうな気がしています。また、私がSPRING-8のサイト内にいることでもなにかと便利かも知れません。とにかくお役に立てればと思っています。

今SPRING-8は、若い人達を中心にいい意味で殺気立っています。人生にまたと無いこんな時期に立ち会える喜びを味わっています。本当にもうそこまで来ているという実感です。建設フェーズから利用フェーズに移っていくこの時に、光彩として皆さんがどのような記事を望んでいるかをよく考え、「光彩はまだかいな」と思われるようにしたいものです。

水木純一郎

「光彩」 No. 14

1997年6月発行

発行 SPring-8利用者懇談会
〒678-12 兵庫県赤穂郡上郡町金出地1503-1
(財)高輝度光科学研究センター内
TEL 07915-8-0970 FAX 07915-8-0975

印刷 アイテム ジャパン
〒658 兵庫県神戸市東灘区深江本町3-1-6
TEL 078-413-5400 FAX 078-413-5335